

・休業4日以上事故・災害

**16068I** 特任教員（男性：45歳）；同研究室員と会話をしながら歩いていたところ、足の踏み間違いにより転倒し、右足首を骨折。休業7日。

・休業4日未満事故・災害

**16055M** 研究員等（男性：25歳）；レントゲン検査時、麻酔下にあった患畜（大型犬）が覚醒した。覚醒直後で錯乱状態のため気管チューブを誤嚥する可能性があり抜去しようとした際、右手第4指を噛まれ、骨に達するほどの咬傷を負った。5針縫合。休業1日

・不休業事故・災害

**16053F** 教諭（女性：48歳）；OAフロアとしている室内の入口付近の段差部分を踏んでしまい、躓き転倒した。その際、左膝をひねり、左膝・前十字靭帯損傷。

**16058F** D1院生（男性：25歳）；実験中、マクロピペット（ガラス製ピペットを取り付けて液体を吸い上げるための器具）にガラス製パストゥールピペットを差し込む際、過負荷により破損し、破損部分で右拇指に裂傷を負った。

**16059F** 技術・教室系職員（男性：40歳）；百葉箱内に設置している気象観測機器のデータを回収する際、クロスズメバチの巣があることに気が付かず飛び出してきたハチに右手人差し指を刺された。

**16061F** M1院生（男性：22歳）；帰宅中、乗っていた自転車が急に止まり転倒し、顔面を打撲。障害物等は暗く確認できず、また後日現場を確認したが、路面に段差等はなく転倒原因不明。

**16066F** 雇用外教職員（女性：28歳）；マウスゲージ交換作業中、ラックの天板裏の折り返し部をカウンタークロスで拭く際、右手小指を切創。6針縫合。

**16067F** 学部4年（男性：22歳）；エントランスホールでスマートホンを見ながら歩いていたところ、柱に頭をぶつけ出血。病院にて縫合措置。

**16069F** M2院生（男性：23歳）；実験に使用したニトロベンゼンスルホン酸クロライドの試薬瓶を棚に戻す前に、不活性ガス（アルゴン）を試薬瓶に充填する作業で、実験用風船内のガスが導入口の口から想像していたよりも強く噴出し、瓶の中の粉末が飛散。その際、被災者は鼻から吸引してしまい、病院に搬送され鼻腔内の洗浄処置を受けた。

**16070F** 医療・看護系職員（男性：38歳）；手術室において、手術後機材片付けの際、無理な体勢をとり、腰痛を発症した。

**16072F** 技術・教室系職員（女性：40歳）；簡易温度計の校正作業のためマグカップに入れた温度定点用の氷水を再利用しようと冷凍庫に保存し、翌日マグカップを取り出したところ、マグカップにヒビが入っていたため氷水だけ再利用しようとマグカップから取り出した際、コップが割れ、割れた面で右手親指と人差し指を切創。5針縫合。

**16074F** 学部2年（女性：20歳）；基礎学生実験で、ガラスをガスバーナーで熱し、毛細管を作成していたところ、ガラスの熱した部分に右手人差し指を触れてしまい軽度の火傷を負った。

・通勤災害

**16051J** 事務補佐員（女性：48歳）；出勤時、駅の上りエスカレーターで前々列の女性の手押し車が地面に上がらず転倒してきたため、受け止め持ち上げ地面に下ろした際、右足ふくらはぎ及び膝を痛め、靭帯損傷。

**16057J** 学術支援職員（女性：42歳）；通勤時、背後から来た人のキャリーバッグが足にあたり転倒。右上腕・上半身を打撲、擦過傷及び肋骨にヒビ。

**16065J** M2院生（男性：28歳）；構外歩道を自転車で走行中、前方を自転車で走行していた80歳男性が左にハンドルを切ったため、右から追い越そうとした際、右に曲がろうと一時的に左に膨らんだだけだったため接触した。本人ケガなし。接触相手は、まぶた付近を裂傷し、病院へ搬送。

## ・その他

**16056S** 学部4年（女性：22歳）；学内で夕方から深夜にかけて実施していた懇親会で過度の飲酒により酩酊状態となった。他の学生が救急車を要請したが、意識が回復したため救急搬送は行わなかった。

**16075S** 雇用外教職員（男性：30歳）；プロジェクトでミャンマーから来日していた短期研修員が、40度の発熱およびめまいのため病院を受診し、即時入院となった。検査の結果、パラチフスとの診断。潜伏期間が7～14日のため6月いっぱい同室及び周辺で発症があり得るため注意が必要。

## ・設備災害でない機器・施設損傷あり

**16062Nd** 看護師（女性：51歳）；出勤時、駐車スペースに駐車する際、バックしようとアクセルを踏んだところ、ギアが完全にバックに入っていなかったため、フェンスに衝突した。

**16064Nd** 特任研究員（シニアフェロー）（男性：66歳）；坑内駐車場で、バックで駐車する際、駐車スペースの後方にある荷物棚からボルトが突き出ているのに気が付かず、車体左後方を引っ掛け損傷。

## ・設備災害でない有害物（臭）流出あり

**16054NI** M1院生（男性：22歳）；液体窒素用自加圧式容器（100L）に液体窒素を充填して屋外を運搬中、路面のひび割れ・窪みで容器が転倒した。その際、容器の圧力逃がし口から液体窒素が流出した。人的被害なし。

**16060NI** 教授（男性：50歳）；ロータリーポンプを他の建物に移動させるため車に荷入れする際、ポンプからオイルが漏れているのに気が付かず10ml程度路面にこぼした。

**16073NI** D1院生（男性：24歳）；実験室のシンクで、実験後の高温・高圧反応容器をファンの風で冷却中、硫黄系化合物のガスが容器から漏洩し、実験室のあるフロア中心に隣接階まで異臭（腐卵臭）が広がった。ガスが有害かどうかは不明。

以上 教養学部等環境安全管理室